

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公開番号】特開2012-251819(P2012-251819A)

【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2011-123326(P2011-123326)

【国際特許分類】

G 01 P 15/135 (2006.01)

【F I】

G 01 P 15/135 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月9日(2014.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内側に空間を持つ質量体と、

前記質量体を支え、かつ前記質量体を取り囲むように配置された、円弧状の梁と、

前記質量体の前記空間内に配置された対向電極と、

前記質量体の前記対向電極に向き合う内側部分に設けられた内側切削部分と、

を有し、

前記内側切削部分の大きさに応じた加速度感度の閾値を有している加速度スイッチ。

【請求項2】

内側に空間を持つ質量体と、

前記質量体を支え、かつ前記質量体を取り囲むように配置された、円弧状の梁と、

前記質量体の前記空間内に配置された対向電極と、

前記質量体の前記対向電極とは反対側の外側部分に設けられた外側切削部分と、

を有し、

前記外側切削部分の大きさに応じた加速度感度の閾値を有している加速度スイッチ。

【請求項3】

内側に空間を持つ質量体と、

前記質量体を支え、かつ前記質量体を取り囲むように配置された、円弧状の梁と、

前記質量体の前記空間内に配置された対向電極と、

前記質量体の前記対向電極に向き合う内側部分と前記対向電極とは反対側の外側部分との間の中間部分に設けられた中間切削部分と、

を有し、

前記中間切削部分の大きさに応じた加速度感度の閾値を有している加速度スイッチ。

【請求項4】

内側に空間を持つ質量体と、

前記質量体を支え、かつ前記質量体を取り囲むように配置された、円弧状の梁と、

前記質量体の前記空間内に配置された対向電極と、

を備え、

前記質量体は面積を有する水平な上面と一様な厚みを有し、前記上面の面積に応じた加速度感度の閾値を有している加速度スイッチ。